

科目名「口腔機能発達学」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	野本たかと
単位数	2	
学習目標 (GIO)	口腔には咀嚼，摂食嚥下，呼吸，言語，顔貌形成，感情表現から消化，免疫応答への関与に至るまで多くの機能が存在しており，全身の健康状態と密接な関係がある。口腔機能は，胎生期を経て出生してから乳児期，幼児期，成人期に至るまで，学習によって発達・変化し，獲得され，そして，老年期には減退していく。この過程は，全身状態や環境などの様々な因子により，その様相は異なる。そして，これらの過程において何らかの問題が生じた場合には，包括的な支援を行うことが必要となる。したがって，ウェルビーイングを担う医療人である歯科衛生士の社会的役割として，ライフサイクルを通しての口腔機能の維持管理があることを十分に認識し，遂行に必要な知識および技術，態度を修得する。	
担当教員	野本たかと，三田村佐智代，遠藤眞美，江口采花	
教科書	必要に応じて資料を配布する。	
参考図書	授業時に参考図書を示す。	
評価方法 (EV)	原則として，定期試験 (100%) を評価点とする。定期試験は，各講義担当教員が出題し，その総合評価とする。なお，配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。	
学生へのメッセージオフィスアワー	口腔の健康はウェルビーイングに関連しており，歯科衛生士の担うべき事は多い。口腔機能は人のライフサイクルを通して生命の維持から生活の質にいたるまで幅広い範囲に影響を及ぼしていることを理解し，歯科衛生士として将来，口腔機能の適切な管理を通して健康の維持・増進に寄与できるような人材となれるように受講してください。 オフィスアワー：月曜日～金曜日 9：00～17：00	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/11	口腔機能発達概論	<p>【授業の一般目標】 人間発達と口腔機能発達の概念について知識を修得することは口腔機能管理を担う歯科衛生士として重要であることを理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 発達の概念および理論について理解する 2. ライフサイクルから見た口腔の機能についてその発達と変化について説明できる 3. 口腔機能の全身への関与について説明できる 4. 脳神経の発達と口腔機能との関連性を説明できる 5. ライフサイクルから見た口腔感覚の発達と変化について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 発達の概念について予習する・60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 なし</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	野本
第2回 4/18	口腔機能に関わる解剖と生理学	<p>【授業の一般目標】 口腔機能発達に関連する解剖および生理学的特徴について理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 口腔，鼻腔，咽頭，喉頭，食道の構造について説明できる 2. 口腔機能に関わる筋群の構造および機能について説明できる 3. 摂食嚥下のメカニズムについて説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 頭頸部の解剖について調べる・60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 あり</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	三田村

科目名「口腔機能発達学」

<p>第3回 4/25</p>	<p>口腔機能発達とその障害①～胎生期から乳児期（前期）～</p>	<p>【授業の一般目標】 胎生期から乳児期までの口腔機能の発達および障害について理解する 【行動目標（SB0s）】 1. 胎生期における口腔機能の発達および器官形態について説明できる 2. 乳児期の原始反射について説明できる 3. 哺乳に必要な口腔領域の原始反射について説明できる 4. 哺乳に必要な口腔領域の器官の特徴について説明できる 5. 胎生期から乳児期までの全身と口腔機能の発達の関係について説明できる 6. 胎生期から乳児期までの障害について説明できる 【準備学習項目・時間】 哺乳について調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>遠藤</p>
<p>第4回 5/2</p>	<p>口腔機能発達とその障害②～乳児期（後期）の正常発達～</p>	<p>【授業の一般目標】 乳児期（後期）の口腔機能の発達について理解する 【行動目標（SB0s）】 1. 乳児期（後期）における離乳の開始時期について説明できる 2. 離乳開始時期から離乳完了期までの口腔機能の発達について説明できる 3. 離乳開始時期から離乳完了期までの口腔の器官形態の変化について説明できる 4. 離乳開始時期から離乳完了期までの全身と口腔機能の発達の関係について説明できる 【準備学習項目・時間】 離乳について調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>江口 （野本）</p>
<p>第5回 5/9</p>	<p>口腔機能発達とその障害③～乳児期（後期）の障害～</p>	<p>【授業の一般目標】 乳児期（後期）の口腔機能の障害について理解する 【行動目標（SB0s）】 1. 口腔機能の障害の原因疾患について説明できる 2. 離乳における摂食嚥下機能障害について説明できる 3. 離乳における摂食嚥下機能障害と食環境との関係について説明できる 4. 離乳における摂食嚥下機能障害と食内容との関係について説明できる 【準備学習項目・時間】 離乳における摂食嚥下機能障害について調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>三田村</p>

科目名「口腔機能発達学」

<p>第6回 5/16</p>	<p>口腔機能とその障害④～幼児期から学童期の正常発達と障害～</p>	<p>【授業の一般目標】 幼児期から学童期の口腔機能の正常発達と障害について理解する 【行動目標 (SB0 s)】 1. 幼児期から学童期における食事の自立について説明できる 2. 食事の自立における眼と手と口の協調について説明できる 3. 食事の自立における全身と口腔機能の発達の関連について説明できる 4. 食事の自立における摂食嚥下障害について説明できる 5. 食事の自立における摂食嚥下障害と食環境との関連について説明できる 6. 食事の自立における摂食嚥下障害と食内容との関連について説明できる 【準備学習項目・時間】 食事の自立について調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】</p>	<p>三田村</p>
<p>第7回 5/23</p>	<p>口腔機能とその障害⑤～青年期～</p>	<p>【授業の一般目標】 青年期の口腔機能の正常発達と障害について理解する 【行動目標 (SB0 s)】 1. 青年期の身体、運動機能、認知機能、社会性の特徴について説明できる 2. 青年期の口腔の特徴について説明できる 3. 青年期における食の問題点について説明できる 4. 青年期の精神障害について説明できる 5. 青年期の栄養障害について説明できる 【準備学習項目・時間】 青年期の特徴について調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>三田村</p>
<p>第8回 5/30</p>	<p>口腔機能とその障害⑥～成人期から老年期における正常機能と障害～</p>	<p>【授業の一般目標】 成人期から老年期の口腔機能の特徴と障害について理解する 【行動目標 (SB0 s)】 1. 成人期から老年期における身体、運動機能、認知機能、社会性の変化について説明できる 2. 成人期から老年期における口腔機能の変化について説明できる 3. 成人期から老年期における栄養障害について説明できる 4. 成人期から老年期における食の問題について説明できる 【準備学習項目・時間】 成人期から老年期における口腔機能の変化について調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】</p>	<p>遠藤</p>
<p>第9回 6/6</p>	<p>口腔機能とその障害⑦～言語発達とその障害～</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の1つである言語の正常発達と障害について理解する 【行動目標 (SB0 s)】 1. 音声言語コミュニケーションのメカニズムについて説明できる 2. 音声言語の正常発達について説明できる 3. 音声言語の障害について説明できる 4. 音声言語のトレーニングについて説明できる 【準備学習項目・時間】 音声言語のメカニズムについて調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>三田村</p>

科目名「口腔機能発達学」

<p>第10回 6/13</p>	<p>口腔機能の維持・管理①口腔ケア概論</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の維持・管理の重要性および概念を理解する 【行動目標 (SB0 s)】 1. 口腔ケアの定義および意義について説明できる 2. 口腔ケアの効果について説明できる 3. 口腔に影響を与える薬剤について説明できる 【準備学習項目・時間】 口腔ケアの意義について調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>遠藤</p>
<p>第11回 6/20</p>	<p>口腔機能の維持・管理②適切な食事介助</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の維持・管理に必要な食事場面での適切な介助の方法について理解する 【行動目標 (SB0 s)】 1. 食事介助における姿勢の調整について説明できる 2. 食事介助における食具の選択について説明できる 3. 食事介助方法について説明できる 4. 食事介助が実施できる 【準備学習項目・時間】 食事介助の注意点について調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義, 実習</p>	<p>野本</p>
<p>第12回 6/27</p>	<p>口腔機能の維持・管理③機能的な口腔ケア</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の維持・管理に必要な機能的な口腔ケアについて理解する 【行動目標 (SB0 s)】 1. 機能的口腔ケアの意義について説明できる 2. 機能的口腔ケアに必要なアセスメントができる 3. 機能的口腔ケアの方法について説明できる 4. 機能的口腔ケアが実施できる 【準備学習項目・時間】 機能的口腔ケアの方法について調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義, 実習</p>	<p>遠藤</p>
<p>第13回 7/4</p>	<p>口腔機能の維持・管理④器質的な口腔ケア</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の維持管理に必要な器質的な口腔ケアについて理解する 【行動目標 (SB0 s)】 1. 器質的口腔ケアの意義について説明できる 2. 器質的口腔ケアに必要なアセスメントができる 3. 器質的口腔ケアに必要な道具について説明できる 4. 器質的口腔ケアの方法について説明できる 5. 器質的口腔ケアが実施できる 【準備学習項目・時間】 器質的口腔ケアの方法について調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義, 実習</p>	<p>遠藤</p>

科目名「口腔機能発達学」

<p>第14回 7/11</p>	<p>口腔機能の維持・ 管理⑤集団におけ る口腔ケア</p>	<p>【授業の一般目標】 集団における口腔ケアについて理解する 【行動目標 (SB0 s)】 1. 集団における口腔ケアの意義について説明できる 2. 集団における口腔ケアにおけるアセスメントについて説明できる 3. 集団における口腔ケアの方法について説明できる 4. 集団における口腔ケアが実施できる 【準備学習項目・時間】 集団における口腔ケアの方法について調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義, 実習</p>	<p>遠藤</p>
<p>第15回 7/18</p>	<p>口腔機能の維持・ 管理における歯科 衛生士の役割</p>	<p>【授業の一般目標】 地域における歯科衛生士による口腔機能の維持・管理について理解し, 支援方法を理解する 【行動目標 (SB0 s)】 1. 口腔機能の維持・管理におけるリスクについて説明できる 2. ライフサイクルを通じた生活環境および社会環境について説明できる 3. 口腔機能の維持・管理に携わる業種について説明できる 4. 口腔機能の維持・管理における医療連携の重要性について説明できる 【準備学習項目・時間】 口腔機能の維持・管理における歯科衛生士の役割について調べる・60分 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>野本</p>